

ICF 四半期報告

2024年7月～9月

<上半期総括>

ICF総会（4/22）にて、今年度の活動・全体方針「3つ（社会課題起点・事業共創活動・コミュニティ活動）のアップグレード」をご説明しました。上半期を振り返り、下期の活動を加速させていただきます。

①「社会課題起点（=ICF活動起点）」のアップグレード

次期・社会課題リスト（2025年1月発刊予定）の検討を開始しました。コロナ禍、技術の進展等による環境変化や、新たな社会経済動向を加味し、取り組むべき社会課題の整理を進めます。可能な限り会員の皆さまからのご意見や問題意識も取り入れたいと考えております。ご関心のある方はICF事務局までご連絡ください。（P4参照）

②「事業共創活動」のアップグレード

女性向けリカレント教育（[第1四半期活動報告](#)参照）、カーボンオフセット実証実験（P3）など社会実装に向けた共創活動を実践しています。また、XR・人間拡張の先進技術に着目した社会課題解決への活用可能性を探るプログラムも開始しました。さらに社会実装研究「パブリックアフェアーズ（PA）」（P3）も実施中です。

③「コミュニティ活動」のアップグレード

「ICF Meetup 2024」（下記参照）では、15社・団体に登壇いただき、会員間交流も進められました。9月には、はじめて関西地域の会員へのヒアリング（P5）も実施、今後は首都圏以外でも同様の展開を検討予定です。またカーボンクレジットWS（P3）では、新たな市場形成に向け、拡大型コミュニティづくりにも挑戦しています。

<7～9月活動報告>

◆「ICF Meetup 2024」（7/19）

ICF会員が一同に会して、社会課題解決取組に関する情報共有や意見交換をおこなう交流・マッチングイベント「ICF Meetup 2024」をハイブリッドで開催しました。ピッチ終了後には、360°映像配信にご協力いただいた[リアルバーチャル株式会社](#)と登壇企業・団体の中から計10社・団体にブースを設置いただき、会場参加者による交流会を行いました。当日は、会場とオンライン合わせて約90名の方にご参加いただき盛会となりました。詳細は、ICFサイト掲載の[開催報告](#)をご参照ください。

①ICF活動状況報告

プログラムの冒頭では、ICF事務局長より、4月のICF総会以降の活動実績と新たな活動スケジュール（MRI DEMO DAYは2025年1月に開催し、その後、BAP（Business Acceleration Program）募集開始予定等）について報告しました。詳しい内容は、[第1四半期活動報告](#)をご参照ください。

②「Japan-ASEAN Start-up Business Matching Fair 2024」イベント報告

続いて、6月19日にタイで開催されました「[Japan-ASEAN Start-up Business Matching Fair 2024](#)」について報告しました。現地参加いただいたICFベンチャー会員の中から、UPWARD株式会社、Olive株式会社、エアロセンス株式会社の3社にご登壇いただき、各社の海外事業の展望やイベント参加の成果、ご感想等をお話いただきました。

③会員ピッチ

スタートアップの育成・支援や産官学との連携を通じた社会課題解決の取り組みに力を入れている北陸地域の自治体・大学をはじめ、新規に入会されたICF会員12社・団体の代表者の方にご登壇いただきました。

（登壇企業・団体）

[アールシーソリューション株式会社](#)、[株式会社Z-Works](#)、[株式会社ドクターナウ](#)、[株式会社Booon](#)、[株式会社コシダアート](#)、[東武鉄道株式会社](#)、[国立大学法人北海道大学](#)、[富山県](#)、[石川県](#)、[福井県](#)、[金沢大学](#)、[金沢工業大学](#)



◆「第6回プラチナキャリア・アワード表彰式及び記念シンポジウム」(7/31)

プラチナキャリア・アワードは、三菱UFJ信託銀行（共創会員）とICFとの共同企画として、東洋経済新報社の協力、転職会議の参考情報協力により、プラチナキャリア形成を支援する企業を表彰するものです。7月31日に東証ホールにて、第6回プラチナキャリア・アワード 表彰式・記念シンポジウムを開催しました。当日は、会場・オンライン合わせて180名を超える多くの方にご参加いただきました。表彰式では、審査委員長の三菱総合研究所 理事長 小宮山宏より、受賞企業（下記①参照）に表彰状とトロフィーを授与し、各社代表の方から受賞のスピーチをいただきました。今回初めて設けた「特別奨励賞」は応募企業のうちグロース市場上場企業を対象にしたものです。

シンポジウムの記念講演では、BNPパリバ証券 グローバルマーケット統括本部副会長 中空麻奈氏より「日本の人的資本活用に向けて～成長と生産性向上～」と題してご講演いただきました。今回の重点評価項目（下記②参照）「人的資本経営」についての本質的なご説明は、人材の価値を最大限に引き出す施策・環境整備のために、企業にとって重要な手がかりとなるものでした。続いて、「生成AI時代のプラチナキャリア～企業価値を向上するための生成AIの活用とは～」と題してパネルディスカッションを実施しました。冒頭で三菱総合研究所 生成AIラボセンター長 比屋根から「生成AIで変わる働き方と求めるスキル」に関して話題提供を行い、パネリストとしてご登壇いただいたアワード審査委員の皆さまを中心に、多様な観点から生成AI活用に取り組む企業側、働き手側の双方に対するご意見、ご提案をいただきました。

表彰式・記念シンポジウムのプログラム詳細は、ICFサイト掲載の開催報告もご参照ください

<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-19546/>

① 第6回プラチナキャリア・アワード受賞企業

【最優秀賞】ライオン株式会社

表彰理由（評価の主なポイント）

- ・「自律した個」の躍動のためのキャリア自律サイクルを構築、従業員のキャリア自律を通じた自己実現を支援
- ・新たな学習機会を創出するためのプラットフォーム「ライオン・キャリアビレッジ」導入、多くの受講実績がある
- ・オフィスも含めた多様な人材が働きやすい環境作り
- ・従業員と役員の接点拡大を推進、多数の従業員が参加
- ・上長と部下の関係性を高める「関係性向上プログラム」



【優秀賞】／【特別奨励賞】 受賞企業と表彰理由を反映した賞名

優秀賞 (五十音順)	株式会社イトーキ	「従業員エンゲージメントと専門性のダブル向上」賞
	株式会社山陰合同銀行	「地域密着型多様な未来人材育成」賞
	ソフトバンク株式会社	「生成AIで社員と会社がともに成長」賞
	日本特殊陶業株式会社	「延長線上にない変化に向けての社員全員DX」賞
	パーソルホールディングス株式会社	「主体的キャリアによる創造」賞
特別奨励賞	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング	「多彩な人材の採用、きめ細かい育成」賞

表彰式での受賞各社のスピーチは動画（以下URL）にてご視聴可能です。

https://youtu.be/vzn3jbR_Q3Q?si=KEcZTJfNQChSMAOC（YouTube限定公開）

② 第6回プラチナキャリア・アワード重点評価項目

プラチナキャリアを形成する3つの特徴「長期的視点」「自律的学び」「社会課題解決」に関連する取り組みへの評価に加え、開催回ごとに異なる重点評価項目を設定しています。第6回は「人的資本経営」に重点を置き、下記4つの観点で審査を実施しました。

- ・GXやDXの進展（生成AI普及を含む）に伴う環境変化が想定される中、会社の経営理念、戦略さらには求める人材像を社員と共有しているか。
- ・戦略実現上の観点から必要となる人事施策・制度が検討、実施されているか。
- ・キャリア自律支援に対する姿勢をどのように社員に示しているか。
- ・上記施策・制度は社員からの共感を得て、浸透しているか。

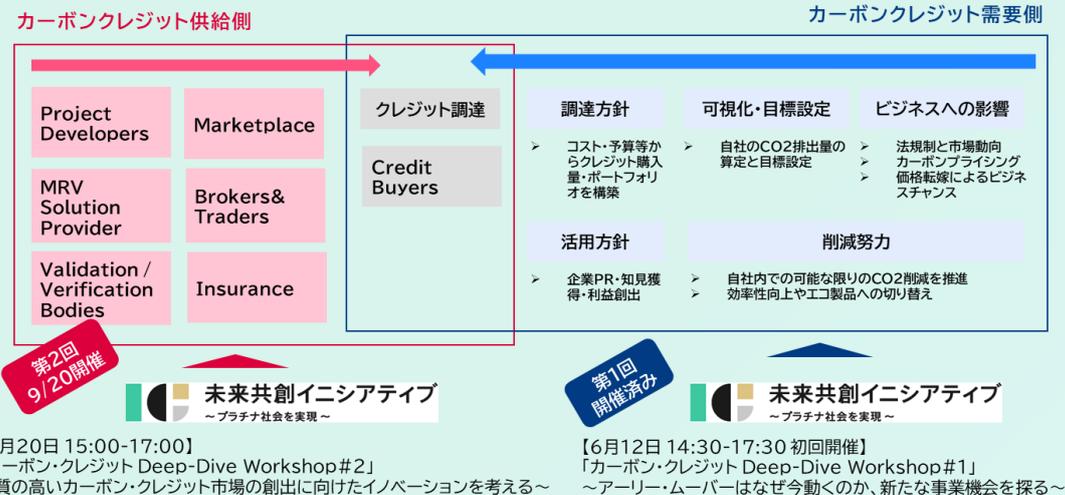


◆「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」(9/20)

カーボンニュートラル実現の一つの手段となるカーボン・クレジット市場は、国内では未だ市場黎明期にあります。こうした市場環境を捉え、ICFではカーボン・クレジット需要側/供給側の様々なプレイヤーが課題や共創アイデアを持ち寄り、共有できるエコシステムの構築を目指し、隔月ペースで全3回の「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」を開催しています。カーボン・クレジット市場におけるプレイヤーに幅広く参加いただくため、本活動はICF会員外の方にもご参加いただいています。

初回は6/12に開催し、主にカーボン・クレジットの需要側の企業から、早期に活動・調達に取り組む理由や取引参画のハードルなどの課題について共有いただきました。第2回の9/20は、カーボン・クレジットの供給側の企業をお招きし、カーボン・クレジットに求められる品質やリスクの考え方についてディスカッションしました。最終回の第3回は11月に開催予定です。初回・第2回の議論を踏まえて、特に重要と思われるテーマを選定する予定です。第3回から新たにご参加いただくことも全く問題ございませんので、もしご興味を持たれましたら随時ICF事務局までお申し付けください。過去の資料等、可能な範囲で共有いたします。

〈第1回・第2回「カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop」のテーマ軸〉



◆クレジット活用によるカーボン・オフセット実証実験実施

ICFはイベントの脱炭素化に取り組んでいます。7月31日開催、第6回プラチナキャリア・アワード表彰式・記念シンポジウム (P2) について、イベント開催に伴い排出される温室効果ガス (GHG) を算定し、クレジットを活用してカーボン・オフセットの実証試験を行いました。

会場参加者の移動に伴い排出されるCO2をオフセットするため、参加者（関係者含む）の交通経路・手段（往復）の情報提供ご協力をお願いし、削減努力として、会場にお越しの際は可能な限り公共交通機関をご利用いただくよう事前に呼びかけました。GHG算定対象の範囲、オフセットに使用したクレジットなどの詳細はICFサイト掲載のレポートをご参照ください。

https://icf.mri.co.jp/note/pca6-carbon_offset/

◆ICF社会実装研究 「パブリックアフェアーズ」 (8/2、9/27)

今年度、ICFでは社会実装研究として「パブリックアフェアーズ (PA)」を取り上げ、PA活動の試行、ケーススタディを通じて得られた知見やノウハウ等を会員間で共有し、社会課題解決に向けたコレクティブインパクトやイノベーション活動促進に繋げていきたいと考えています。

第1回は、政府の「骨太方針／成長戦略2024」を題材に取り上げ、その読み解きも含め、パブリックアフェアーズ (PA) についての理解を深めるキックオフイベントを開催、約50名の方に参加いただきました (8月2日)。第2回は、ICFベンチャー会員 (※Morus株式会社) の事業拡大構想を題材に、PAにおけるステークホルダー及び政策動向調査を実施。本内容を会員の皆さまに紹介、PA活動の具体的な手順やイメージを共有し、その後、PA活動への取り組みに関心のある会員企業とのワークショップの場に繋げていきたいと考えています (9月27日)。

※ Morus株式会社：カイクを原料とした新たなタンパク質源・食材の開発事業を手掛けるスタートアップ

◆人間拡張・バーチャルエコノミー領域（9/5）

人間拡張・バーチャルエコノミー領域のシーズを社会課題解決へ転用し、新市場を創出することを目指した活動を進めています。6/26に、「人間拡張・バーチャルエコノミー領域」のキックオフイベントとして、株式会社Mogura代表取締役の久保田 瞬氏をお招きし、「[特別ウェビナー：XRがもたらす社会変革](#)」を開催しました。

続いて、9/5に、スタートアップのシーズを基軸にビジネス上の有用な活用方法を探索するワークショップ（アイデアソン）を開催しました。アイデアソンでは、参加者12名が2グループに分かれて議論し、社会課題解決に向けた共創アイデアを創出しました。例えば、バーチャル演奏、バーチャルハイキング、オンライントレーニングなどのアイデアや、2025年に開催される大阪・関西万博で具体的な共創に取り組む可能性についても言及されました。詳細は、ICFサイト掲載の[開催報告](#)をご参照ください。

今回のアイデアソンを契機に、具体的な共創活動を推進するとともに、次回（12月頃を想定）のアイデアソンの企画検討を進めていきます。その結果を踏まえ、社会課題にどのように解決できるのかについて年度内に整理し、発信していく予定です。

人間拡張・バーチャルエコノミー領域のシーズを社会課題解決に活用されたい方は、ICF事務局までご連絡ください。

◆ベトナム・ホーチミン市でのピッチイベント「Startup Wheel」（8/22-23）

ベトナム国内・海外も含めスタートアップ2,000以上が応募するピッチイベント「※Startup Wheel」が2024年8月22日-23日の両日、ベトナム・ホーチミン市で開催されました。ICFベンチャー会員からは、UPWARD株式会社、トモイク株式会社、株式会社フェイガーの3社が参加、ピッチの結果、トップ50にUPWARD、トモイクの2社が、さらにファイナリスト5社にフェイガーが選出されました。

※Startup Wheel：スタートアップだけでなく、ベトナム国内外のVC、行政関係者、政府機関 等が集まるベトナム最大級のピッチイベント。Business Startup Support Centre(BSSC)主催。



ピッチの様子（フェイガー）



最終審査会の様子



トップ50社

◆「社会課題リスト」（2025）作成 検討スタート

『イノベーションによる解決が期待される社会課題リスト2025』（以下、社会課題リスト）の検討を開始しました。

- ・ 「100億人が100歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に向けた羅針盤となるアジェンダとしての位置づけはそのままに、定番の社会課題6分野は、見直しが必要な時期に来ているとの認識から、新たな分野設定を検討しています。
- ・ コロナ禍などで生じた環境変化を加味し改定を行います。
- ・ 地球・社会・人、それぞれの観点から現状の社会課題を抽出し、また、技術の進展がもたらす新たな社会課題も取り上げる予定です。

なお今回の改定では、可能な限り会員の意見を取り入れていく予定です。既に会員数社にヒアリングを実施し、自社での社会課題リスト活用を踏まえ、次回社会課題リストに期待することなどについてご意見をいただきました。

2025年の1月頃の公開に向けて検討を進めていきます。

◆関西地域での取り組み

ICFでは、さまざまな共創活動を行っていますが、イベント・セミナーは東京での開催が中心となっています。今後は首都圏以外の会員の皆さまとのコミュニケーション、対話の機会を創っていきたくと考えています。首都圏以外での活動も促進していく予定です。

上記活動のスタートとして、8/8に開催されたEXPOミライ学園祭（主催：大阪府・大阪市万博推進局）に、ICF会員であるNPO法人第3の家族とともにブースを出展しました。また、9月上旬に、関西のICF会員約10社・団体を往訪し、課題やニーズをヒアリングさせていただきました。

今回のヒアリング結果を踏まえて、第3四半期に関西地域での活動を企画検討していきます。関西地域で取り組みたいテーマ等がございましたら、ICF事務局までご連絡ください。



EXPOミライ学園祭 出展ブースの様子

◆インパクト起業家ストーリー#44、#45公開

社会課題にビジネスで立ち向かうには、起業家の人間力や組織としての力が求められます。起業家たちは何を想い、目指す世界をどのように実現しようとしているのか。社会課題解決に向けて奮闘する「ひと」に光を当てて、直面している課題の理解や認知向上、ひいては社会としてのブレークスルーを加速することを狙いとして取材記事をお届けしています。⇒記事一覧（44社公開中）は[こちら](#)

新たに、男性の健康に貢献する[ロゴスサイエンス株式会社](#)、微生物の力で未来を創ることを目指す[株式会社エンドファイト](#)の記事を公開しました。

<ICF会員>

7/1～9/30に新規入会された会員数は、11社・団体で、9月末時点での会員数は、634社・団体となりました。

（新たにご入会された会員）

【企業】

◇株式会社エナリス <https://www.eneres.co.jp>

◇水ing株式会社 <https://www.swing-w.com>

◇株式会社ソーシャル・エックス <https://gyaku-propo.com>

◇プレモパートナー株式会社 <https://www.premopartners.com>

【ベンチャー】

◇アンドドット株式会社（テクノロジー） <https://and-dot.co.jp>

◇株式会社Emunitas（教育・人材育成、イノベーション支援） <https://emunitas.com>

◇Tomoshi Bito株式会社（教育・人材育成、イノベーション支援） <https://rice-media.net/>

◇Folka株式会社（ウェルネス、テクノロジー） <https://folka.co.jp>

◇株式会社machimori（防災・インフラ、教育・人材育成） <https://machimori.jp>

◇リアルワールドゲームス株式会社（ウェルネス、モビリティ） <https://realworldgames.co.jp>

【賛助】

◇びわこ成蹊スポーツ大学 <https://biwako-seikei.jp>

（ICF会員一覧）

会員一覧は、ICFサイトをご参照ください。 <https://icf.mri.co.jp/member/>

<10月以降の活動予定>

◆10/18開催「ICF中間報告会2024」

2024年度ICF中間報告会を10月18日（金）15:00～16:15にオンライン開催いたします。

上半期の活動総括と下半期の予定についてご案内するとともに、社会課題解決型ビジネスの新たな事業化・市場形成手段について話題提供を行います。また、社会課題解決に向けた官民連携の最新事例をICF会員からピッチいただきます。

プログラムの詳細ならびにお申し込みは以下のURLからお願いします。

オンライン参加：<https://icf.mri.co.jp/activities/activities-19888/>

◆事業共創活動

◇進行中の共創活動の開催予定

- ・ [産学連携による女性のためのライフキャリア×ヘルスケア講座](#)：10/12開始
- ・ カーボン・クレジットDeep-Dive Workshop：第3回（最終回）11月開催予定(P3参照)
- ・ 人間拡張・バーチャルエコノミー領域：次回アイデアソン12月開催予定（P4参照）

◇企画検討中の新たな取り組み

- ・ MRIにて[株式会社ジオクリエイツによるバーチャル避難訓練](#)を10月実施予定
- ・ 関西地域での活動を検討中。開催場所、テーマ等が決まり次第、お知らせ予定
- ・ 会員の皆さまの取組みを次なる共創活動テーマに繋げていく企画提案型ウェビナーを順次開催予定